
●第3回オスマン文書セミナーのご案内

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）では、今年度より発足した基幹研究「中東・イスラーム圏における人間移動と多元的社会編成」（代表黒木英充）の事業の一環として、2010年12月22日と23日に第3回オスマン文書セミナーを開催します。研究上、オスマン朝下で作成されたさまざまな手書きの文書や帳簿を読む必要のある方を中心に、ひろくイスラーム史を研究される方のご参加をお待ちしております。ただしオスマン・トルコ語の授業を行う場では決してありませんのでご注意ください。また、本セミナーはNIHUプログラム・イスラーム地域研究東洋文庫拠点との共催となります。

今年度の第3回では、昨年度の第2回目でとり扱った文書類型「勅令」の後を受けて、重要な勅令の抄録簿である「ミュヒンメ・デフテリ（Mühimme Defterleri）」と、それと密接な関係にある「勅令草稿」とを取り上げます。ただし前回セミナーの出席を前提とはせず、今回から新たに参加する方々にも十分理解できるように配慮いたします。

枢機勅令簿とも訳される「ミュヒンメ・デフテリ」は、オスマン朝史の根本史料の1つとして有名ですが、実際の構造や時代的な様式の相違についてはあまり知られていないのではないかと思います。そこで今回もこれまでと同様、はじめに古文書学・アーカイブズ学的観点から講義形式で解説を行なった後、事前にお配りしたコピーを用いて具体的な実例を演習形式で読解していきます。今回も、単に文書のテキストを読むというだけではなく、文書行政システムの手続きの中に正しく位置づけて理解することをめざしたいと思いますが、昨年までより講読の時間を多くとる予定です。今回の講読で取り上げますのは、16~19世紀の「ミュヒンメ・デフテリ」と18世紀の「勅令草稿」の予定です。

なおセミナーへの参加資格として、次の1.または2.のいずれかにあてはまることを条件といたします。

- 1.「現代トルコ語の読解力があり、かつアラビア文字に関する知識を有する」
- 2.「ペルシア語あるいはアラビア語の読解力があり、かつ現代トルコ語文法の知識を有する」

参加を希望される方は、お名前、ご所属、連絡先住所・電話番号、メールアドレス、専門分野、セミナー参加可能日程を明記の上（部分参加も可）、下記の申込先まで11月30日(火)までにEメールにてご連絡ください。こちらから、セミナーで用いる資料を郵送いたします。なお参加費は無料です。

また、東京近郊以外に在住の方には旅費の支出も検討しておりますが、予算の都合上、旅費支給を希望される方は、なるべく早くその旨お知らせください。

問合わせ・申込先：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイエンス研究企画
センター事務局

e-mail: [fsc_office\[at\]aa.tufs.ac.jp](mailto:fsc_office[at]aa.tufs.ac.jp) * [at] を@に変更して送信ください
プログラム等の詳細は以下の通りです。

基幹研究「中東・イスラーム圏における人間移動と多元的社会編成」
第3回オスマン文書セミナー

- ◇主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- ◇共催：NIHUプログラム・イスラーム地域研究東洋文庫拠点
- ◇期間：2010年12月22日(水)～23日(木)

◇会場：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
3階大会議室(303号室)

(〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1)

<http://www.tufs.ac.jp/access/>
<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/about/access>

- ◇講師 高松洋一 (AA研)
齋藤久美子 (AA研ジュニア・フェロー)

◇プログラム

12月22日(水)

14:00-14:15 趣旨説明 講師紹介

14:20-16:00 解説「ミュヒンメ・デフテリと勅令草稿について」

16:20-18:00 講読 I：「16世紀のミュヒンメ・デフテリ」

12月23日(木・祝日)

10:30-12:10 講読 II：「17世紀のミュヒンメ・デフテリ」

13:00-14:40 講読 III 「18世紀の勅令草稿」

15:00-16:40 講読 IV 「18~19世紀の「ミュヒンメ・デフテリ」

17:00-18:00 総合討論